

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(地方公共団体のGX関係)

○登録者情報

坂野 晶（さかの あきら）

所在地 東京都

組織名・所属 役職

一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン 代表理事



略歴

- 2012 年 3 月 関西学院大学総合政策学部卒業
- 2012 年 7 月 DHL Global Forwarding Philippines Inc. 入社 （法人営業、トレードレーンマネジメント部長を経験）
- 2015 年 4 月 特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー参画 （同年 10 月より理事長に就任）
- 2019 年 11 月 一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン設立
- 2021 年 7 月 一般社団法人 Green innovation 設立
- 2022 年 3 月 京都大学大学院地球環境学舎修了
- 2023 年 1 月 株式会社 ECOMMIT 入社 （取締役役に就任）

○主な取組内容・実績

・2015 年より日本初の「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った徳島県上勝町の廃棄物政策を担う NPO 法人ゼロ・ウェイストアカデミーに参画し、理事長として地域の廃棄物削減の取組推進と国内外におけるゼロ・ウェイスト普及に貢献。上勝町ゼロ・ウェイスト・タウン計画をはじめ町の廃棄物削減の施策の計画・実装に広く携わる。

・2018 年より、飲食店におけるゼロ・ウェイストの取り組みを評価し、取り組みがブランド価値となることを目指す制度としてゼロ・ウェイスト認証制度を設立。全国の飲食店、アパレル店、コワーキングスペースを中心に展開し、現在計 12 事業者（徳島県上勝町で 2018

年に開始以降、累計 25 事業者）が本認証を取得している。

- ・ 2019 年に米マイクロソフト CEO らとともに、世界経済フォーラム年次総会（通称ダボス会議）共同議長を務める。

- ・ 2020 年より一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパンを設立し、日本全国で循環型社会のモデル形成に取り組む。

- ・ 2021 年、脱炭素に向けた社会変革を起こす人材育成プログラム Green Innovator Academy を共同設立。2023 年度で 3 期が修了し、計 400 名以上の卒業生を各界に排出している。

- ・ 2020 年度より継続して、長野県小布施町一般廃棄物の削減・利活用を通じた持続可能な観光と循環型まちづくりの推進事業において、家庭ごみの排出実態に係る定期調査と削減策の提案や、町役場庁舎の廃棄物の実態調査と削減策の提案、事業者向けの廃棄物削減の支援等を行っている。

- ・ 2021 年度に、島根県雲南市における地域内資源循環促進にかかるアドバイス、2022 年度は雲南市の脱炭素社会実現計画の骨子案作成にあたり「ごみゼロ社会の実現」の方針に関するアドバイスを行った。また、2019 年から連携していた公益財団法人うんなんコミュニティ財団と共に市内全域での家庭向けコンポストの普及と導入を実施。約 2 ヶ月で 70 基以上のコンポストを市内の各家庭や交流センターなどで作成・設置し、2022 年、雲南市より市外事業者に対しては初となる感謝状を受けた。

- ・ 2022 年、2030 年までに日本における生ごみ焼却ゼロを目指す「生ごみ焼却ゼロプラットフォーム」を共同設立。現在全国 15 地域以上のから 46 の草の根でコンポスト普及等に長年取り組んできた団体が会員として参画し、知見の共有と実データの取得を開始している。

- ・ 2023 年 1 月より資源循環のインフラを担う「循環商社」株式会社 ECOMMIT の取締役 Chief Sustainability Officer に就任。現在は兼任で ESG 推進室長も務める。

○その他

World Economic Forum Future Council on Japan (2020)

World Economic Forum Global Shapers Community Foundations Board (2020-2021)

日経ウーマンオブザイヤー2022 受賞 (2022)

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員 (2023-)

入間市環境審議員 (2023-)

NHK 国際放送番組審議員 (2023-)

Innovation for Cool Earth Forum Steering Committee (経産省、NEDO) (2024-)

経済産業省 サークュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ 地域循環モデルワーキンググループ 委員 (2024-)